

六戸町農道橋定期点検結果

点検概要

橋梁点検は、構造安全性および交通安全性に影響する損傷や第三者被害が懸念される損傷の早期発見と処置を行うとともに、橋梁の予防保全型維持管理（アセットマネジメント）を行うために必要な情報を収集することを目的としています。

本点検は、六戸町で管理する農道橋2橋について行い、点検結果は今後の維持管理方針・修繕計画等を策定する上で、重要なものとなります。

アセットマネジメント：道路施設を町民の資産としてとらえ、その資産を長期的視点に立って、効率的・効果的に管理運営する体系化された手法である。

『壊れてから作る（スクラップ&ビルド）のではなく、壊れる前に補修（メンテナンス）することで、長期的に経済的となる。』

・六戸町管理農道橋の概要

対象となる橋梁は、六戸町管理の農道橋で、「米沢大橋」「高森橋」2橋の点検を実施しています。

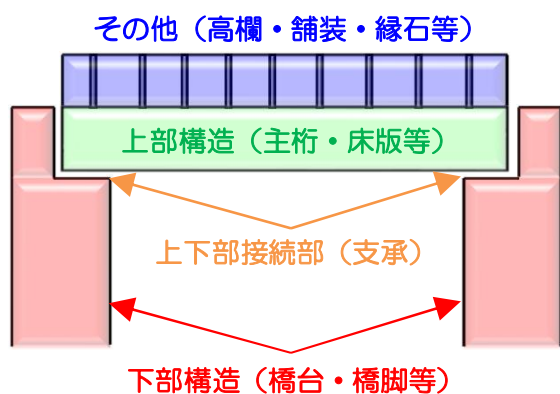


我が国の社会資本は、1955年～1975年の高度経済成長期を中心に急速に整備されました。近年これらの社会資本の老朽化が進み、同時期に高齢化を迎えようとしており、更新費・維持管理費の増大が懸念されています。これは、六戸町でも例外ではありません。

六戸町で管理している農道橋は、令和8年3月現在で「米沢大橋（よねざわおおはし）」、「高森橋（たかもりばし）」の2橋です。「米沢大橋」は供用開始から19年、「高森橋」は26年が経過しています。現在確認されている損傷のうち、将来的に影響が懸念される損傷に対して無対策とした場合、老朽化が加速して最悪の場合更新が必要となることも考えられます。これにより、厳しい財政状況が続くなかで、合理的且つ効率的な手法による公共資産の維持管理が喫緊の課題となっています。

定期的に橋梁の点検を行い、維持修繕に係る費用の削減を図ることが重要！

・橋梁点検方法の概要



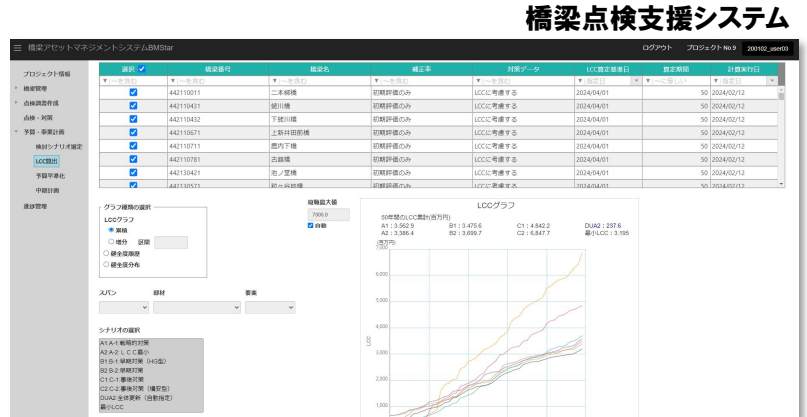
道路橋定期点検要領
国土交通省 道路局

点検は、橋梁のすべての部材（橋面工・上部工・下部工等）について橋梁に関する技術的な知識を有する資格者により公的マニュアルに基づいて、定量的な健全度評価を行います。

点検機材

- ・タブレットPC+橋梁点検支援システム（BMS：ブリッジマネジメントシステムの略）

タブレットPC



※出典：RPI【(財)大阪地域計画研究所】

橋梁点検作業風景



米沢大橋点検状況
【橋梁点検車による点検】



高森橋点検状況
【橋梁点検車による点検】

・農道橋点検結果一覧

橋梁名	橋齢	所在地	橋長	点検結果				
				主桁	床版	下部構造	その他	総合評価
米沢大橋	19	六戸町大字下吉田米沢	190.0	I	I	I	I	I
高森橋	26	六戸町大字犬落瀬権現沢	51.0	I	I	I	I	I

【判定区分】

- I：健全 全・・監視や対策を行う必要のない状態をいう
- II：予防保全段階 状況に応じて、監視や対策を行うことが望ましい状態をいう
- III：早期措置段階 早期に監視や対策を行う必要がある状態をいう
- IV：緊急措置段階 緊急に対策を行う必要がある状態をいう

総評

令和7年度に実施した点検では、落橋に繋がる重大な損傷は、見受けられませんでした。
六戸町では、点検結果・農道橋長寿命化修繕計画に基づき、今後も「安全・安心」なインフラサービスを提供できるように、適切な維持管理を行っていきます。